



スイーツ de 議会報告会

6月24日土曜日に議会報告会を行いました。おあしすの生活工房で午後のひと時、スイーツを口に運びながらの交流会、題して「スイーツ de 議会報告会」。

日頃、市議会なんて縁遠いと思っている人たちを引き寄せるための甘〜い企画。私たち市民が住む吉川市を私たち市民が作っていく為には、みんなが集い気軽に話せる場が必要です。勿論無料でというわけにはいかないけれど、そんな和やかな場を作るのにスイーツは効果的で30名ほどの参加で有意義な時を過ごせました。



始まりはちょっと堅めにプロジェクターを使って6月議会報告をし、その後にスイーツを食べながらのフランクトークを予定していたのに、会派の人数が減った話からいきなり質問が飛び、最初からフランクトークに。

敬老祝品の選択に祝金が追加されたこと、小規模保育園の話、吉川美南駅東口開発・東中学校改修工事についてなどの議案についてのほか、岩田京子が力を入れる環境関連の一般質問：「エコロジカルネットワーク」や「市の温暖化対策」について、また「認知症対策のための図書館との連携」「放課後等デイサービスに連絡会」についての報告をしました。



生活工房はマイクが使えないので、スイーツタイムは近くの人たちで各々の話題で盛り上がっていました。一つのテーマを決めてみんなの意見を聞く方法も良いけど、小さい輪で盛り上がると初めて会った人同士が知り合っていくのでそれも良かったです。

余談ですが、トーマス・D.シーリー著「ミツバチの会議」って本の紹介を見つけました。ミツバチは新しい営巣地へ引っ越すとき、その群れの生死にかかわる場所の選択を実に民主的な意思決定プロセスで、常に最良の巣を選び出すのだそうです。ミツバチたちのその方法から学び、著者は「声の大きな人」に押し切られない会議を実感しているそうです。「全員が発言を終えるまで、次の発言は出来ない」という会議の運び方。そうすることで人の意見を聞きながら、自分の意見を調整し、みんなで落としどころを決めていくことができるのだそうです。そんなやり方で会議やワークショップが出来たら良い案が出来るかもしれませんね。

因みに8月8日に「みんなの庭を作ろう」と題して吉川美南駅東口の公園をどんなものになりたいかを考えるワークショップを開催予定です。その他にもみんなで話したいテーマがあったら、お声を掛けてくださいね。(M.I)

